

総 第 737 号
平成 26 年 7 月 1 日

報道機関 各位

魚津市公共施設再編方針について

魚津市公共施設再編方針（素案）に対するパブリックコメント及び市民説明会での意見等を踏まえ、「魚津市公共施設再編方針」を策定しましたので、ご案内します。

今後、再編方針に基づき、実施に向けた計画等の策定に着手していく予定です。

なお、参考までに、再編方針（素案）に対するパブリックコメントの実施結果及び市民説明会でのアンケート結果を別紙のとおりご報告いたします。

取材について、格別のご配慮をよろしくお願いいたします。

<素案からの変更点>

各施設の方針について、素案からの変更はございません。

【問い合わせ先】

魚津市総務課行政行革係

担当：広田

TEL：0765-23-1019

魚津市公共施設再編方針（素案）に対するパブリックコメント実施結果

実施日：平成26年4月30日（水）から平成26年5月30日（金）まで

意見提出件数：25件

【市庁舎等に対する意見（要約）】

施設名	ご意見	魚津市の見解等
本庁舎	平成35年度の本庁舎の建替えは受け入れがたい。	本庁舎については、老朽化が進み、耐震性もないことから、災害時における災害対策本部としての機能を強化するとともに、分庁舎を本庁舎へ統合することによる市民の利便性向上を図るために、建替えを行うことといたしました。 今後、建替えに向けて計画を策定していく段階で、改めて市民の皆様からご意見を頂戴したいと考えています。

【学校教育施設に対する意見（要約）】

施設名	ご意見	魚津市の見解等
小学校	統合の必要性が叫ばれてから長い時間が経過している。平成35年度までと言わず、前倒しの統合を実現すべき。	保護者や地域の方々との協議を進めながら、4校それぞれの統合目標年度の実現に向けて計画を推進していきます。
	小学校の統合の遅延は、行政の責任が大きい。	
	統合による校舎の維持管理費等の低減の早期実現を求める。	
	市長と教育長の権限、義務、役割分担など、小学校統廃合の遂行にあたり議論されたことがあるのか。	
統合後の旧小学校グラウンド	小・中・高校生の部活動に利用してはどうか。	市民の皆様にも効果的・効率的に利用していただけるよう、利活用の方法などについて検討していきます。
	駐車場として利用できるようにしてもらいたい。	
	町内会の屋外イベントに活用してもらいたい。	
	維持管理を町内会やシニア層に協力を仰いではどうか。	
統合後の旧小学校体育館	学生、会社員の同好者、シニア層が気軽に利用できる工夫をお願いしたい。	市民の皆様にも効果的・効率的に利用していただけるよう、利活用の方法などについて検討していきます。
	バトミントンやバレーボール、ビーチバレー等のコート設置の時間短縮のため、使用後の清掃、整頓のみにしてはどうか。	

【児童福祉施設に対する意見（要約）】

施設名	ご意見	魚津市の見解等
保育園	休日保育のニーズへの対応はどうするのか。	保護者の方々のニーズを把握したうえで、対応を検討していきたいと思います。

【社会教育・文化施設に対する意見（要約）】

施設名	ご意見	魚津市の見解等
公民館	地域の重要な各種活動の拠点となっていることに配慮し、近くに代替施設がない地域では丁寧な協議・理解を得る努力が必要。	公民館については、老朽化が進んでいる施設が多いことから、各地域の方々のご意見を伺いながら、原則として、小学校跡地に機能集約することとしています。 また、小学校跡地を各地域の拠点施設として位置づけていきたいと考えていることから、その役割や利活用の方法などについて、各地域の方々と十分に協議を進めていきたいと思っています。
	新設の公民館には、公民館と町内会館との間につながりをもたせる役割を付加し、統合後の各地区住民の融和を図るツールにしてもらいたい。	
	公民館に十分な駐車スペースを確保してもらいたい。	小学校跡地への機能集約等の状況を踏まえながら、検討していきたいと思います。

【スポーツ施設に対する意見（要約）】

施設名	ご意見	魚津市の見解等
温水プール	温水プール移設によるメリットは試算されているのか。	素案における各施設の効果額は、統合や廃止等における各施設の維持管理費や更新等経費の増減額により試算しています。 また、温水プールについては、耐震性がないことから耐震補強工事費等も比較検討したうえで建て替える方針としています。 なお、場所については、現在地で建て替える場合と新たな場所で建設する場合を十分比較検討したうえで決定することとしています。
吉田グラウンド	吉田グラウンドを改造して、小学生等の冬期の体力強化、技能の継続的訓練、ソフトボール競技の公式施設も兼ねて、全天候型施設とできないか。	吉田グラウンドについては、総合体育館や温水プールの動向を踏まえて、今後、方向性を検討していきたいと考えています。

【その他施設に対する意見（要約）】

施設名	ご意見	魚津市の見解等
大光寺ロードパーク	ロードパーク付近の歩行者の安全通行の問題、トンネル出入口の騒音の問題、ロードパーク維持管理に問題がある。	現状を把握のうえ、問題があると判断した場合は、適宜対応していきたいと考えています。

【行政改革全般に対する意見（要約）】

ご意見	魚津市の見解等
<p>施設利用者の意見を参考にしながら、類似施設への統廃合を目指したり、後年にニーズが発生すれば再建も視野に入れてもらいたい。</p>	<p>今後、具体的に施設の統廃合を進めていくにあたっては、できるだけ利用者の意見等の把握に努めたいと思います。また、市民ニーズや人口動態などを適切に把握しながら、今後、施設整備を進めていきたいと考えています。</p>
<p>魚津市の付加価値の増加、他市との差別化はどうするのか。</p>	<p>地域主権が進むなかで、他市との差別化を図ることは非常に大事なことだと考えています。魚津市の魅力をさらに高めるための方策について、施設に限らず各分野において、引き続き推進していきたいと思っています。</p>
<p>市職員、市議会議員の削減等、身を削る努力を示してもらいたい。</p>	<p>職員数については、これまで行政改革の一環として削減を進めてきており、平成11年度に500人いた職員が、平成26年度には342人まで削減されています。今後も引き続き、事業内容や実施方法の見直しなどにより職員数を削減できないか検討していきたいと考えています。</p> <p>なお、市議会議員の定数については、市議会のほうで検討されるものと思われまます。</p>
<p>無競争の市議会議員数の削減の是非について。</p>	
<p>市職員の職務の更なる多能化、処理スピードのアップ、市及び県の二重行政の見直しに向けた努力を。</p>	<p>ご意見として頂戴いたします。</p> <p>効果的・効率的な行財政運営に向けて、今後も引き続き行政改革に取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>事務処理が他課や他係と重複がないか。データの共有化などにより解消してもらいたい。</p>	
<p>古いニーズに基づく資料を惰性的に作成していないか。仕事の整理・整頓を。</p>	

公共施設の再編に関する市民説明会 アンケート結果

(単純集計)

I 調査の概要

1 調査目的

「魚津市公共施設再編方針」策定の参考とするため、平成 26 年 5 月 24 日に開催した公共施設の再編に関する市民説明会への参加者に対して素案に対する意見等を調査するもの。

2 調査対象

市民説明会参加者 58 名

3 回答者数

24 名 (回収率 : 41.4%)

4 調査項目

- ①性別
- ②年代
- ③居住地区
- ④意見等 (自由記載)

Ⅱ 調査結果

問1 性別

男	19人
女	5人
無回答	0人
合計	24人

問2 年代

10代	0人
20代	1人
30代	1人
40代	10人
50代	8人
60代	3人
70歳以上	1人
無回答	0人
合計	24人

問3 居住地区

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
大町	3人	上野方	0人	経田	2人
村木	1人	本江	3人	西布施	1人
下中島	0人	片貝	0人	天神	2人
上中島	1人	加積	2人	市外	1人
松倉	1人	道下	6人	無回答	1人
合計					24人

問4 素案に対する意見等（自由記載）

<本庁舎について>

- 本庁舎の建替えには、まちづくり等幅広い観点から場所や機能を調査・研究し、現在地にとらわれず計画作りを進めてほしい。
- 市役所の建替場所については、検討の余地がある。

<小学校について>

- 小学校の統廃合後、是非、小・中学校にスクールバスを導入してほしい。

<福祉センター>

- 福祉センターの利用者のなかで「入浴施設があってこそ来場できる」という意見がある。方針では、空き施設を利用しての事業実施ということだが、小さくてもいいので入浴施設の設置を検討していただきたい。

<水族博物館・埋没林博物館>

- 水族博物館と埋没林博物館を隣接した敷地に集約すべきである。

<その他>

- 人口減少傾向のなかにあって、身の丈にあった施設数を最優先に考えていくべきである。
- 取り壊す建物はなるべく少なくして、補強や改修を行い、防災物資の備蓄などに活用を考えるなど、幅広くアイデアを募ってみてはどうか。
- 跡地を売却しても二束三文で売るくらいなら保有すべきである。
- 維持管理費の削減方法が分かりにくい。もっと簡単に市民に分かりやすくしてほしい。
- 公共施設の統廃合は不可避だが、将来に向けた夢やビジョンが全く見えず、暗い気持ちになった。政治・行政は足し算や引き算ではなく、かけ算・割り算で考えるべきである。
- 市には、人口増加について考えてもらいたい。
- 生産年齢人口の年齢のうち、20歳から39歳までの人口の推移を把握するなど、少子高齢化や人口減少についてさらに分析を進めてもらいたい。
- 大変な仕事であるが、後世のためにもがんばって取組んでほしい。民間人として出来ることがあれば協力したい。
- 魚釣りができる場所を設けてほしい。